

様

年 月 日

ちゃん

担当獣医師

次回来院日は 年 月 日です

コメント欄：

「パラディア®錠」について

この説明書には、「パラディア®錠」についての大事な情報が記載されています。
この説明書をよく読んでから、飼っているワンちゃんに「パラディア®錠」を飲ませ始めるようにしてください。

「パラディア®錠」は何のおくすりですか？

- ◎ 「パラディア®錠」は、犬に多く発生するがんの一つである肥満細胞腫*の治療に用いるおくすりです。
*本説明書では、わかりやすくするために「肥満細胞腫」という言葉を使っていますが、効能・効果は「PatnaikグレードⅡ（中間型）又はⅢ（未分化型）の再発した皮膚の肥満細胞腫」です。
- ◎ 「パラディア®錠」は、次の2つの働きでがんの治療に効果を示します。
 - がんの細胞が増えるのを抑制します。
 - がんは血液（栄養）を運ぶ血管が作られないようにします。
- ◎ 担当の獣医師は、「パラディア®錠」をがんのひとつの治療法として選びました。
他の治療法としては、手術や放射線療法、他の薬剤による治療などがあります。必ず、担当の獣医師と今後の治療方針についてお話しください。

「パラディア®錠」を飲ませ始める前に、 担当の獣医師に伝えておかなければならないことは何ですか？

- ◎ 担当の獣医師には、動物病院でもらったおくすり、薬局やインターネットで買ったおくすり、犬糸状虫やノミ・ダニの駆虫薬、ビタミン剤などを含むサプリメント、あるいは漢方薬など、現在あなたのワンちゃんに飲ませているおくすりについて、全て知らせてください。
- ◎ あなたのワンちゃんが妊娠中あるいは授乳中の場合、あるいはこれから交配を予定している場合には、担当の獣医師にその旨を伝えてください。
- ◎ もし、あなたが妊娠中や授乳中、あるいは妊娠の可能性があり、おくすりをワンちゃんに飲ませることを決めた場合は、担当の獣医師にその旨を伝えてください。

「パラディア®錠」はどのように飲ませたらよいですか？

- ◎ 「パラディア®錠」は口から飲ませるおくすりです。
- ◎ 「パラディア®錠」をおやつなどと一緒に与える場合は、必ずワンちゃんがおくすりを飲み込んだことを確認してください。
- ◎ 「パラディア®錠」を1回何錠あげるか、また何日に1回あげるか、は担当の獣医師の指示に従ってください。

「パラディア®錠」の治療による副作用にはどのようなものがありますか？

- ◎ 「パラディア®錠」も、他のおくすりと同じように副作用が出ることがあります。
- ◎ 「パラディア®錠」では次の副作用が多くみられます。
 - 下痢
 - 食欲不振、体重減少
- ◎ 重大な副作用には次のようなものがあります。
 - 動脈や静脈の中に血の塊ができる（浮腫、肺血栓性塞栓症を含む血栓塞栓症に至る血管障害）
 - 激しい嘔吐や腹痛（消化管穿孔を含む重篤な消化管合併症）
- ◎ ワンちゃんに次のような変化があったら、すぐに「パラディア®錠」を飲ませるのをやめて、担当の獣医師の診察を受けてください。
 - ごはんを食べようとしない
 - 嘔吐した、あるいは水のような便をした（特に、24時間以内に3回以上の嘔吐、あるいは水のような便が認められた場合は、必ず動物病院を受診してください）
 - 黒いタールのような便をした
 - 嘔吐したものや便に、赤い血液のようなものがあった
 - 理由がわからないケガや出血があった
 - その他、何か気になる変化があった

上記の副作用は全てを記載したものではありません。この他にも気になる症状があらわれた場合には、獣医師にご相談ください。

「パラディア®錠」を安全に取扱うには、どうしたらよいですか？

- ◎ 「パラディア®錠」は他の「抗がん剤」と同じように、おくすりをさわるときや飲ませるとき、あるいはワンちゃんのトイレなどの掃除をするときには、特に注意が必要です。
- ◎ おくすりは、お子さんの手の届かない安全な場所に保管してください。また、お子さんがおくすりにさわらないよう注意してください。また、お子さんがワンちゃんの糞や尿、嘔吐した物に近づかないようにしてください。
- ◎ 「パラディア®錠」は人用ではなく、犬用のおくすりです。
- ◎ このおくすりは、がんの中で新しい血管が作られるのを抑制するので、胎児の新しい血管が作られるのを邪魔してしまい、胎児に悪い影響を与えることがあります。
妊娠中の女性がこのおくすりを飲んでしまった場合、流産などの妊娠に関する副作用が起こることがあります。
- ◎ 万が一、このおくすりをあなたやあなたのご家族が間違えて飲んでしまったときは、すぐに医療機関を受診し、医師の診察を受けてください。その際、担当の獣医師に連絡を取り、「パラディア®錠」について医師に説明してもらってください。
人がこのおくすりを飲んだ場合、消化管の不快感（嘔吐や下痢を含む）を感じる場合があります。
- ◎ もし、あなたが妊娠中や授乳中、あるいは妊娠の可能性があり、おくすりをワンちゃんに飲ませることを決めた場合は、以下の「取扱いの説明」に従って、十分に注意を払ってください。

下記の「取扱いの説明」は、ワンちゃんに安全におくすりを飲ませるために従っていただきたい項目になりますので、よく読んでください。

「取扱いの説明」：以下の注意を守って、おくすりを取扱ってください。

- ◎ ワンちゃんにおくすりを飲ませた後は、必ず手を洗ってください。
以下の注意に従ってください。
 - このおくすりは、中身の成分が飛び散らないようにコーティングされていますので、割らないでください。
 - おくすりをブリスターから取り出したら、すぐに飲ませてください。
 - もしおくすりが割れたり湿ったりしていたら、保護手袋をはめて取り扱ってください。ワンちゃんがおくすりを吐き出したしまった場合も、保護手袋をはめて拾ってください。
 - おくすりを食事やおやつに混ぜて飲ませるときは、食べ終わるまで見守り、ワンちゃんがおくすりをすべて飲みこんだことをしっかり確認してください。
これは、飲み残してしまったおくすりに、ご家族がうっかりさわってしまう危険を減らすためです。
- ◎ 掃除について：
 - このおくすりの成分の多くがワンちゃんの糞や尿に排泄される可能性があります。このおくすりを飲ませている間は、砂場等の子供が遊ぶ場所ではワンちゃんに糞や尿をさせないよう気をつけてください。これは、子供たちがワンちゃんの糞や尿に排泄されたおくすりの成分に触れてしまう危険を減らすためです。
 - このおくすりの成分は、ワンちゃんの糞や尿だけでなく嘔吐物の中にも含まれています。ワンちゃんのトイレや嘔吐物を掃除するときは、保護手袋をつけて行ってください。
 - このおくすりを飲ませている間は、お散歩などでワンちゃんが屋外でした糞や嘔吐物は必ず保護手袋をつけて回収してください。また、尿についてはできるかぎりペットシートなどで回収し、尿で汚れた場所を水などで必ず洗い流してください。これは、他のワンちゃんや人が糞や尿に排泄されたおくすりの成分に触れてしまう危険を減らすためです。
 - ワンちゃんの糞や使用したペットシート、嘔吐物、掃除に使った使い捨てのウェットティッシュなどは密封できるビニール袋などに入れ、家庭ごみとして廃棄してください。これは、これらのごみを通してあなたやあなたのご家族、ごみを処理する人たちがおくすりの成分に触れてしまう危険を減らすためです。
 - このおくすりを飲ませているワンちゃんの糞や尿、嘔吐物で汚れたものは、決して他の洗濯物と一緒に洗わないでください。

この説明書には全ての情報が記載されているわけではありません。この説明書を読んでもわからないところがあったり、もっと知りたいことがあったりしたら、どんなことでも担当の獣医師に尋ねてください。